

2016年(平成28年) 5月発行

糸田町

議会だより

第9号



△ 明治から大正頃と思われる山笠

おもな内容

- 研修視察 P2
- 一般質問(町政を問う) P3 ~ P7
- 当初予算決まる P8 ~ P9
- 委員会報告 P10 ~ P11
- まちはどうなっしようと P13

子育て支援金 第5子以降に総額100万円
詳しくはP10にのっているよ



ギカイくん



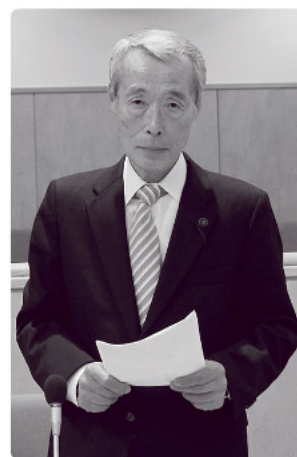
たよりちゃん

答弁 (教育長) 本町の26年度の実績は、小中学校で県からの事業で392

質問 スクールソーシャルワーカーは、貧困や虐待の子どもの家庭環境の対処や教員を支援する福祉の専門家だ。本町の26年度、27年度の実績と成果、28年度の取り組みを問う。

A 28年度は町単費で1名の512時間。必要ならば29年度30年度と考える。

Q 福祉の専門家スクールソーシャルワーカー。28年度の継続の必要性は。



11番 松瀬 征行 議員

一般質問とは
議員が町の仕事全般について、現状やこれからの考えについて質問したり、政策提言をおこなうことで、定例会のみでおこなわれます。糸田町議会では通常一人50分以内でおこない、議会だよりには、要約したものを掲載しています。

時間1名の配置、27年度は、512時間の1名と48時間のスクールソーシャルワーカー1名とパーバイザーとして1名の配置があった。
成果は、小学校男子6名の不登校が3名復帰。女子は6名のうち5名が復帰した。
中学校は、男子2名、女子4名の不登校復帰がなかった。27年度で2年間の県の事業が終了するので28年度は、町単費で1名512時間のスクールソーシャルワーカーを配置予定だ。

質問 本町のスクールソーシャルワーカーの継続の必要性、独自配置を問う。
答弁 (教育長) 28年度の、独自配置で結果を見て必要があれば29年度、30年度と考える。



答弁 (町長) 町の「空き家対策計画」の策定は、福岡県空き家対策連絡協議会の情報提供を受け策定に向け調査検討中で早急に進めたい。

質問 空き家対策計画の策定、作成について問う。

答弁 (課長) この措置法を適用した「特定空き家」の認定、法に基づく勧告はこれからで事例等を参酌し、本町の計画を定め調査をおこなう。

質問 「空き家対策法」が有効に活用されているのか法令に基づく「空き家対策」を問う。
白アリ等の「災害空き家」、倒壊等の「危険空き家」を特定し所有者に助言から最後は解体を命ずることが出来る「空き家対策法」。
その法第9条に基づく「空き家調査」の取り組みの実態を問う。

A 県空き家対策連絡協議会の情報を受け策定に向け調査検討中である。

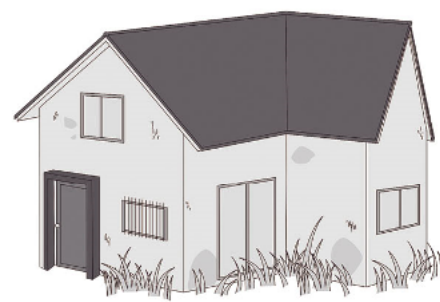
Q 空き家対策法令に基づく「空き家等対策計画」等策定の作成を問う。



答弁 (町長) 「創生総合戦略」の基本目標の一つ糸田町への新しい人の流れをつくる項目で空き家の活用を図る施策「空き家バンク創設事業」「空き家対策強化事業」「空き家活用事業」の3つの事業を柱として考えている。

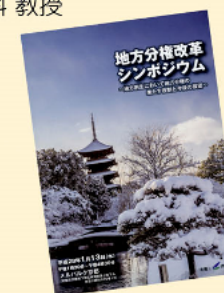
A 「空き家バンク創設事業」「空き家対策強化事業」「空き家活用事業」の3つを考えている。

Q 創生総合戦略に明記の「空き家バンク創設」の取り組みについて。



地方分権改革シンポジウム

- 日時** 1月13日(水) 午後1時30分～午後4時30分
場所 メルパルク京都(京都市)
基調講演 「地方創生と地方分権 ～背景と課題～」
講師：高橋 滋氏 地方分権改革有識者会議提案募集検討専門部 会長
一橋大学大学院法学研究科 教授
- 先進自治体事例研究**
プレゼンター：山田啓二氏 京都府知事
横尾俊彦氏 佐賀県多久市長
- パネルディスカッション**
パネリスト：鈴木英敬氏 三重県知事
横尾俊彦氏 佐賀県多久市長
勢一智子氏 西南学院大学法学部 教授
梶浦秀樹氏 株式会社 庵プロデュース 代表取締役
藤本明美氏 特定非営利活動法人 京都子育てネットワーク 理事長
コーディネーター：人羅格氏 毎日新聞社 論説委員
- 参加者** 山田 陽一・小嶋 康子・城島 信幸・松瀬 征行
(希望者のうち抽選により4名)



立ち寄り視察

- ▶ 京都伝統工芸館 (第三セクター・伝統文化・学生支援など)
- ▶ 古民家改修実例 (昼食会場)
- ▶ 旧日本銀行京都支店 (国重要文化財)



町村議会議員研修会(福岡県町村議会議長会主催)

- 日時** 1月22日(金) 午後1時00分～午後4時20分
場所 パピヨン24 ガスホール(福岡市)
演題 「住民から頼りにされる地方議会」
講師：片山善博氏 慶応義塾大学法学部 教授
- 演題** 「地方創生プロジェクト成功の条件 ～広域連携・官民連携～」
講師：谷口博文氏 九州大学産業連携センター 教授



▲片山善博氏



▲谷口博文氏



- 参加者** 井手元正人・中原 詔蔵・竹田 照美・小嶋 康子・早麻 章三
松岡 久・村上 秀二・松瀬 征行
(欠席：山田 陽一・田中 隆之・谷口 輝昭・城島 信幸)

糸田町指定文化財 田植祭

- 日時** 3月15日(火) 午後3時30分
場所 金村神社
内容 五穀豊穡の模擬農耕(オカツ・ムクデ・牛など)、田植舞など
- 参加者** 井手元正人・中原 詔蔵・竹田 照美・小嶋 康子
田中 隆之・早麻 章三・松岡 久・村上 秀二
城島 信幸・松瀬 征行・谷口 輝昭





質問 第4次糸田町総合計画、平成18年から平成27年の10年間の成果と課題について問う。

答弁(町長) 10力年の成果として、道の駅いとだが平成23年4月にオープン、起債残高約60億円が46億円まで減少。課題として、人口減少対策に重点を置き、総合戦略を集中した取り組みが必要。

A 道の駅いとだがオープン、課題は人口減少対策。

Q 第4次糸田町総合計画の成果と課題についてを問う。



7番 松岡 久 議員

Q 大熊団地の販売実績について問う。

A 販売開始から71区画中42区画の販売。

質問 第5次糸田町総合計画案について、第2章の土地利用の推進の中に分譲地販売促進がある。



答弁(課長) 町所有の分譲地大熊団地の販売実績、今後の販売計画を問う。

質問 平成10年度の販売開始から71区画中42区画の販売、今後の販売目標については、10区画を考えている。

Q 第5次総合計画案にある積極的な行財政改革について問う。

A 町税等の滞納者へ督促等をおこない一括納付を指導。

質問 第5次総合計画案にも効率的な行財政運営が基本施策にある。

1番 山田 陽一 議員



Q 観光の振興について。

A 田川地区全体を一つの観光エリアとして魅力を外部発信する事業を計画している。

質問 福岡に来る外国人観光客が年々増加している中で、糸田町としてはどのように捉えているか、またどのように取り組んでいく考えがあるか。最近では中国をはじめ韓国、フィリピン、タイ、いろいろなアジア諸国から右肩上がりで観光人口が増えている、福岡市ではそれに伴い、いろいろな設備、環境を整えている。さらなる外国人の受け入れ態勢をとっている。糸田町も、このチャンスを逃す手はないと考えている。

る。そこで、どのように今の状況を捉えているか、このチャンスをどう物にするのか、具体的に政策等を聞きたい。

答弁(町長) 観光の振興について、地方創生加速化交付金を活用した田川広域魅力発信事業を計画している。

田川地区全体を一つの観光エリアとして魅力を外部に発信し、急増する外国人観光客誘致に特化した事業を展開する。糸田町としては、ツアーの観光客にいかにも魅力を感じていただくか、道の駅や特産品を今から検討していく。



Q 危険家屋対策について。

A 新年度に向けて、対応策を真剣に考えていきたい。

質問 町内の危険家屋を把握しているか。現状をどのように認識し担当課で協議をし、具体的な対策をとっているか、また行政指導等はおこなっているか。

答弁(町長) 空き家に関する調査は平成25年3月に町内全部をおこなった。結果、外観が荒廃著しいものが13件。近々に糸田町独自の策定、調査検討ができる部門を作って進めていきたい。

質問 法律第14条で助言・指導・勧告・命令・処分等ができるので行政の処置が怠慢にならないよう、早く活動する組織として前に進むように今後頑張っていきたい。

答弁(町長) 宮床町営団地の交差点の空き家屋は、外壁がなくなっている内部が見えている状態、そして高台の位置にある。ここは、生徒・児童

り、その中の課題に積極的な行財政改革を推進とあり人件費、物件費などの経費削減や納税者に納税意識の向上を求め、滞納者への対応とある。そのように行政も経費削減を進める中で長期にわたる滞納者への回収の対応について問う。

答弁(課長) 町税等の滞納者への対応については、督促等をおこない、一括納付を指導。一括納付できない方は面談等にて納付計画を作成し、履行管理をおこなっている。督促した時点で大半が自主納付により完納されるケースが多い。

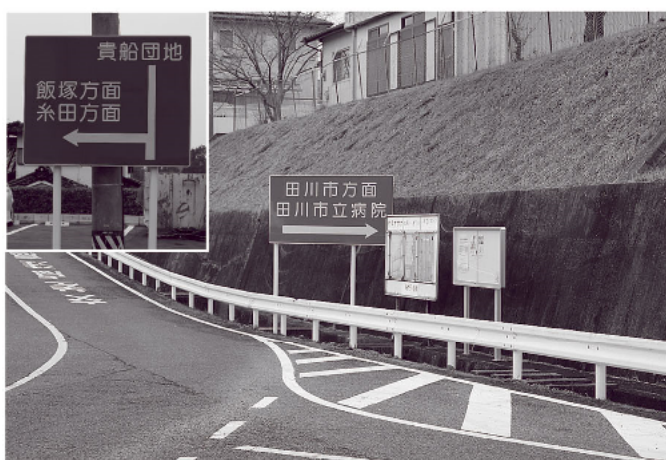
質問 貴船団地入り口の看板設置後の効果について問う。

A 今一効果としては上げられていない。

質問 貴船団地の入口に、新しく看板が設置されている。私も貴船団地の中をよく通る。しかし、見

たところまだ車輛の通行が、近道と違って狭い危険な道を通る人が多い。町が設定した看板の設置後の効果について、さらに効果がないようであれば、侵入しないよう協力してもらえないか。県道香春糸田線振りがえの道路、現在町長と市長と県土事務所に赴き、早期着工の陳情をしている。昨年の12月に看板の設置の内容を考え、月末に設置した。

今一度効果としては上げられていない、何らかの方法で対策を考えていきたい。



の通学路また町民もよく通る道筋、安全性を考えて早急に手を打たないと、けがをする。また何かあつてからでは遅いと思う。その辺の協議はしているのか。

答弁(課長) 宮床団地の交差点にある物件については、町民の方からも指摘があり、把握している。空き家対策特別措置法で、所有者の調査を町でおこなっているが、まだ特定に至っていない状況。危険が道路に及ぶような部分については、緊急避難的に町が施す場合もあるが、根本的な指導という部分については、法の適用に基づく指導には至っていない。



質問 さて、少子高齢化が急速に進む社会状況下の中で、町立緑ヶ丘病院は地域医療として大切な事業であると思う。そして、糸田町総合計画にも次のように示されている。地域住民が必要としている医療、地域に根ざした医療の推進を図るため、保健、福祉との連携を強化、地域包括医療の提供を推進するとともに、近隣医療機関との連携を図り、機能分化、予防医療に取り組んでいくこと

A どのような機能を備えた病院づくりをすべきか、今後検討する。

Q 町立緑ヶ丘病院の将来展望について問う。



9番 中原 詔蔵 議員

答弁 (町長) 町民の皆様が安心して医療を提供するために、休診して

町長は施政方針で町立病院の問題について、述べられているが、総合的に鑑み、町立病院の将来的ビジョンについての考えを問う。

地域の医療を守るためには、今町長が話したように田川市郡の公立病院等々として連携を図っていくべきだと、私もそう思う。これからの糸田町の医療ということについては、いろいろな情報を収集して、この病院、医療をどうするのかについて、町民の皆さんに、具体的に示すべきと思う。

A 糸田町の退職者管理をどうするのか、そういう中で、検討しなければならない。

Q 町職員の退職勧奨(早期退職者)制度の実施をする考えはないか。



いる小児科医の一刻も早い復帰に向けて奔走すると同時に、内科医派遣の予定に何とかこぎつけたところである。今後は、高齢人口がピークを迎える2025年にあるべき医療の姿を田川二次医療圏で考える医療機関構想、それに伴う地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいかなければならない。その中でポイントとなるのが病院完結型医療ではなく、地域完結型医療を目指すということである。

A 適当な補助事業がないので、小中学校については、今後検討したいと思う。

A 学童保育所は委託先の社会福祉協議会と検討していきたいと思う。



A 保育所については補助事業が認められているので、設置の検討をおこなう。

Q 糸田小中学校と保育所、並びに学童保育所の正裏門に防犯カメラ設置について。

A 総合的に検討していきたい。

Q 町内のコミュニティバスについて。

答弁 (課長) 問い合わせは保健センターで対応している。

助成金は、平成28年1月20日から助成の拡充がおこなわれ、1回の治療につき上限で15万円、なおかつ初回治療の方はさらに上限で15万円上乗せになり、計30万円が上限として支給される。また男性が不妊治療された場合上限で15万円助成される。

質問 不妊治療の助成があることを知らない方がいる。周知をどのようにするかを問う。

質問 相談窓口は直通電話を設置してはどうか。

A 保健センターで対応。広報紙、ホームページの掲載等検討したい。

Q 不妊に悩む方への助成金について、周知はどのようにされているか。



質問 下糸田公民館付近にある下水路は、住宅が密集、生活排水で、悪臭、蚊などの害虫が隣接する家の網戸にびっしり張りつき、住人は大変ストレスを感じている。他にもこのような下水路があるようだが、改善を問う。

A 主要な排水路は、雨期前に、予算内で清掃、浚渫を実施。

Q 下水路の衛生、計画的な清掃改善されているか。



3番 小嶋 康子 議員

答弁 (町長) 今年の雨期を目標に、悪臭が薄くなる見込みがある。数カ月様子を見たい。毎年、高圧車両で洗浄、この処理かなり金がかかるので、早い時期に解決を見出したい。ふたをするか形を変えるか発生源をたつたかを協議する。

Q 学童クラブ、日割り計算できないか。帰る時間延長できないか。

A 放課後児童健全育成事業運営委員会において検討する必要がある。

質問 子どもが下校してから安心して過ごせる場所が学童クラブ。月に数回しか利用しない場合は日割計算にできないか。帰りの時間延長はできないか。

答弁 (課長) 規則により児童1人につき1カ月5千円と定め、これを保護者会費として徴収している。近隣市町村の運営を調査研究し、検討したい。

時間延長は、保護者などの意見を聞きながら協議検討したい。

答弁 (町長) ネットワークの実施できる町に近づくと考えている。

ワンストップでおこなう子育て世帯包括支援センターは、人員の確保、財政面の支援が必要。

答弁 (課長) サポート、産後ケアについては、助産師や保健師による全戸訪問で相談にに応じている。

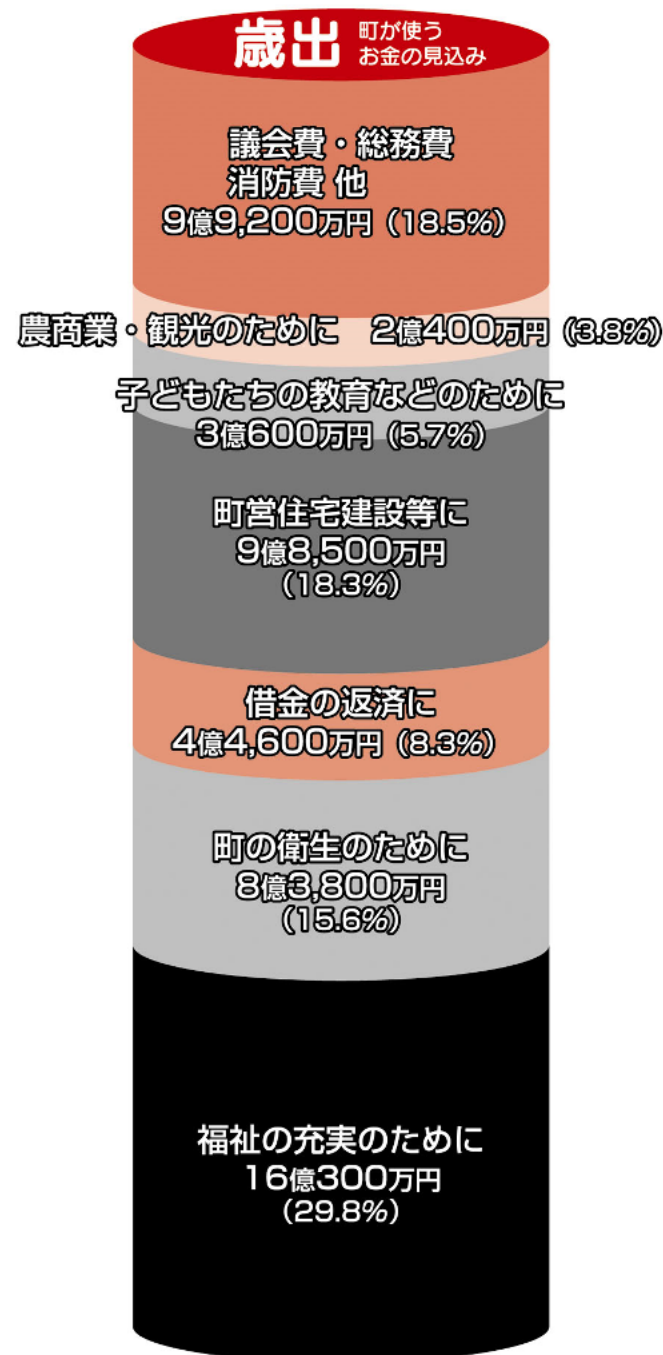
質問 妊娠期相談支援体制、産前産後サポート、産後ケアについてこれらをワンストップで包括支援するための課題、既存のネットワークや施設活用してコーディネートする拠点の整備について問う。

A 一つの窓口でアドバイスできる方向になればネットワークに近づく。

Q 「ネウボラ」、妊娠から出産、6歳まで切れ目ないサポートについて。

フィンランドから始まった妊娠・出産から子育てまで家族を支援し続ける育児支援サービス





平成28年度特別会計		
区 分	予 算	
町立緑ヶ丘病院事業特別会計	9億3,900万円	
上水道事業特別会計	2億2,200万円	
国民健康保険事業勘定事業特別会計	13億1,600万円	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2,000万円	
学校給食センター事業特別会計	7,400万円	
後期高齢者医療特別会計	2億6,900万円	

臨時福祉給付金 約6,476万円

説明
臨時福祉給付金 1人当たり 3,000円
年金生活者等支援臨時福祉給付金 1人当たり 30,000円
・申請漏れがないように電話をかけ、又は訪問する。
平成27年度はこれにより、95.1%の申請ができた。

保健センタートレーニング室関連 約321万円

説明
待合室改修工事 80万円
現在の廊下を改修する。
ランニングマシン2台購入 約241万円
Q 現状を把握して、安価で購入できないか。
A 初心者からマラソンをする人まで対応できるもので1キロ～18キロを考えている。

太陽光発電設置補助金 約80万円

説明
太陽光設置者、1軒につき8万円を補助。
Q 今なぜこの補助金なのか。
A 地方創生総合戦略のなかで、環境負荷低減事業に明記されているので(環境保全を図る)。

A E D 購 入 費 約207万円

説明
14か所のうち12か所分を取替え。
Q 廃棄する物を練習用などに使えないか。
A 有効利用を考えていきたい。

どこに設置されているの？
庁舎や保育所など14ヶ所に設置しているよ！

平成28年度 一般会計予算決まる

糸田町光回線整備事業費負担金 2,800万円

説明
光回線整備は、全地域カバーすることを目的としている。
Q 業者からの勧誘などで住民が不安を抱いているが。
A 広報などにより、安全であることを周知したい。
Q 将来のランニングコストは。
A 民設民営の事業なのでコストは発生しない。(町は、負担金のみである)

新婚生活支援事業費補助金 240万円

説明
県から4分の3補助がある。
新婚世帯に最大24万円補助。
Q 年齢に制限があるのか。
A ありません。

定住促進事業費補助金 1,450万円

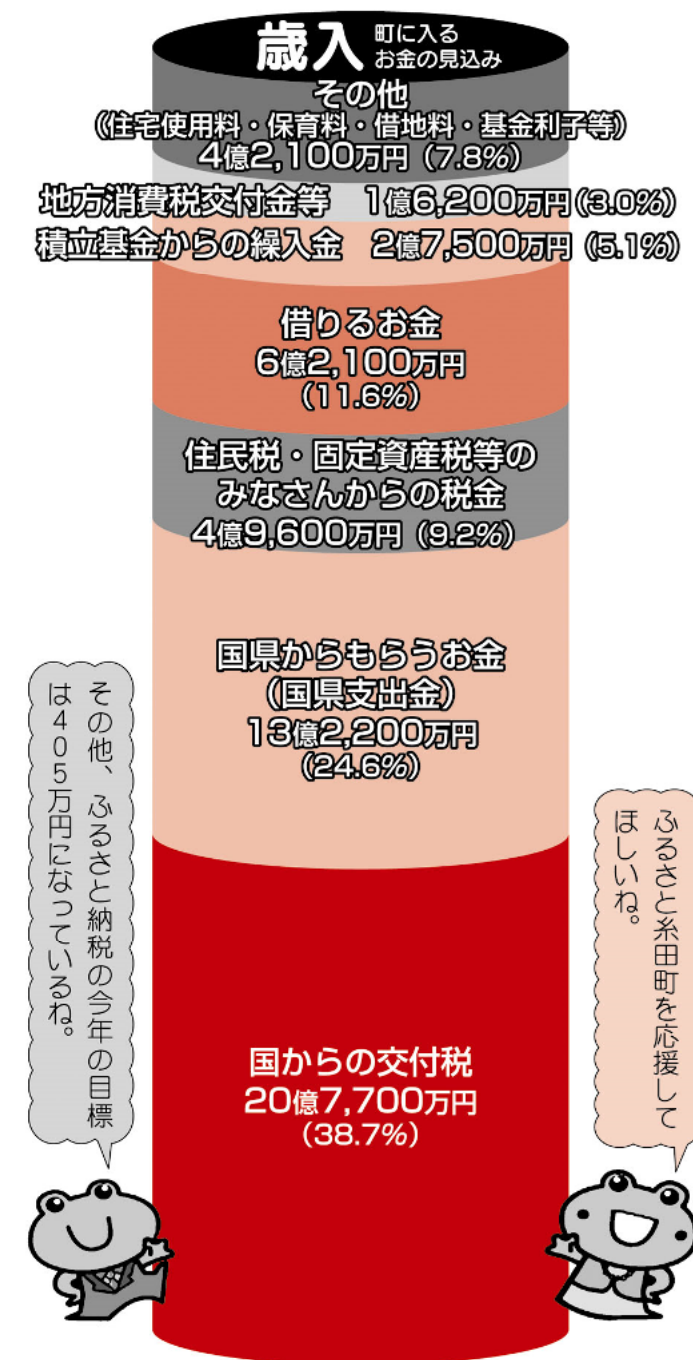
説明
・新築アパートを建設する者に1戸住50万円補助。
1棟につき10戸住が上限
・町外からの入居者への補助。
家賃補助 毎月2万円を上限 2年間
通勤補助 1万5千円上限 2年間
通学補助 1万円を上限 在学期間

ふるさと納税関連 約328万円

説明
返礼品は、業者委託する。
Q 寄附金の返礼分の割合は。
A 寄附金の50%分を特産品などで返礼。

53億7,400万円

※100万円未満四捨五入
※各事業費は万円未満四捨五入



平成28年度一般会計予算の概要

宮床団地建て替えを継続して取り組むための事業費、町道補修事業、糸田駅横断歩道橋の補修事業、野間浦水路改修事業、防災拠点施設整備事業、光回線整備事業及び糸田町総合戦略に基づく事業費を計上した関係で、対前年度当初予算比で2億7,602万円、5.4%の増額予算となりました。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会とは…

主に、総務課・税務課・教務課に関する事項を審議調査します。

糸田町PR動画制作委託料 約143万円 (平成27年度補正予算)

説明 地方創生加速化交付金で実施する事業。福岡よかとこ糸田町PR動画。県のイベントなどでアピールする。



給食センター備品 約148万円 (平成28年度当初予算)

- ・コンテナ 1台
- ・デジタル台秤 1台
- ・熱風消毒保管庫 1台
- ・食物アレルギー対応消毒保管庫 1台



選挙人名簿システム改修委託料 (平成27年度補正予算)

説明 国の法律改正により、選挙権年齢が18歳に引き下げられ転出しても(3か月登録要件)選挙できるシステム改修費用約17万円

中学校備品 約350万円 (平成28年度当初予算)

- 購入備品**
- ・電子黒板機能付液晶プロジェクター
 - ・デジタル教科書
 - ・教師指導書
 - ・その他教科備品



小学校備品 約203万円 (平成28年度当初予算)

- 購入備品**
- ・電子黒板機能付液晶プロジェクター及び周辺デジタル機器
 - ・その他教科備品

地方公共団体情報セキュリティ強化対策委託料 1,320万円 (平成27年度補正予算)

説明 マイナンバー制度に伴う役場内のセキュリティ強化対策の委託料。
(国の通信回線(LGWAN)と役場のインターネット回線と分離)
国庫補助 575万円 地方債 570万円



社会保障・税番号
(マイナンバー)

産業建設厚生常任委員会

産業建設厚生常任委員会とは…

主に、住民課・福祉課・水道課・建設住宅課・産業経済課・町立緑ヶ丘病院に関する事項を審議調査します。

糸田町子育て支援金条例の一部改正

支援金の内容

(単位:円)

区分	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子
出生時	30,000	50,000	100,000	200,000	500,000
3歳到達時	—	—	—	—	200,000
小学校入学時	—	—	—	—	300,000

※生活保護法による生活保護制度の適用を受けている者についての支援金の支給時期及び支給額は、別に定める。



糸田町農業委員会に関する条例の改正

説明

農業委員会等に関する法律の改正に伴うもの

- 公選・選任制が廃止され、町長が議会の同意を得て、任命する。
- 委員定数は、現行16名から14名(政令上限)と農地利用最適化推進委員の設置で2名、計16名となります。



6次産業推進事業 約1,660万円 (平成27年度補正予算)

説明

道の駅の敷地内に加工施設整備

Q どのようなものが加工されるのか。

A 当面は、みそやジャムを考えている。

6次産業ってなに？

1次産業は農水産業、2次は加工、3次は流通販売で全部を掛けて、6次産業なんだよ。



漏水調査・配水管請負 (平成28年度当初予算)

説明

漏水調査費 205万円

●調査は、上糸田、中糸田、原、宮川一・二、打越、下糸田、北区、宮床、宮床団地を予定。

Q 漏水調査により、成果は、あがっているのか。

A 調査を中止すると、漏水が増えて行くと思われる。

配水管布設工事等 4,200万円

県道赤池糸田線、桃山地区配水管布設及び原浄水場送水ポンプ取替え





堂ヶ籠・泌泉線 舗装補修工事完了



泌川沿いの町道

糸田町消防団第3分団 消防格納庫新築工事



旧消防格納庫



完成(大熊分譲団地内)

町営宮床団地 建て替え工事進捗状況



真岡団地内駐車場 整備外3件工事



真岡団地駐車場

真岡団地
階段設置

糸田町庁舎／保健センター 太陽光発電及び蓄電池設置工事



太陽光パネル(庁舎駐車場屋根)



太陽光パネル(保健センター屋根)



蓄電設備
(庁舎)

蓄電設備
(保健センター)

1月			
日にち(曜日)	内 容		
6日(水)	議会広報常任委員会		
10日(日)	下田川二ヶ町連合消防出初式 糸田町成人式「はたちのつどい」		
13日(水)	地方分権改革シンポジウム(京都市)		
14日(木)	京都伝統工芸館等視察		
14日(木)	部落解放同盟田川地区協議会旗開き		
18日(月)	介護保険広域連合田川・桂川支部運営委員会		
20日(水)	議会広報常任委員会		
22日(金)	福岡県町村議会議長会議員研修会		
29日(金)	懲罰特別委員会(城島委員長)		

2月

日にち(曜日)	内 容
3日(水)	懲罰特別委員会(松岡委員長)
9日(火)	議会運営委員会 懲罰特別委員会(城島委員長)
22日(月)	福岡県町村議会議長会定期総会
26日(金)	下田川清掃施設組合議会 田川地区水道企業団議会
28日(日)	和太鼓たぎり全国大会出場記念演奏会



3月

日・にち(曜日)	内 容
	議長団説明
2日(水)	田川地区斎場組合議会 全員協議会
6日(日)	福智町誕生10周年記念式典
7日(月)	議会運営委員会 議会広報常任委員会
9日(水)	本会議初日 全員協議会
10日(木)	糸田中学校卒業式
11日(金)	3・11避難誘導訓練 (田川地区消防本部他主催) 産業建設厚生常任委員会 防災講演会
14日(月)	産業建設厚生常任委員会
15日(火)	総務文教常任委員会
16日(水)	総務文教常任委員会
17日(木)	議会運営委員会 議会広報常任委員会
18日(金)	糸田小学校卒業式 本会議最終日
20日(日)	まちづくりフォーラム
24日(木)	いとだっ子の健全育成講演会
25日(金)	田川地区消防組合議会
26日(土)	町立両保育所卒園式
28日(月)	田川地区水道企業団監査
29日(火)	田川郡町村議会議長会
30日(水)	議会広報常任委員会

平成28年第1回糸田町議会定例会 (3月9日～3月18日)

「○」賛成 「×」反対

件名	結果	山田	竹田	小嶋	田中	早麻	谷口	松岡	村上	中原	城島	松瀬	井手元
専決処分について(糸田町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町行政不服審査会条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町職員の分限の手續及び効果に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例の全部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町子育て支援金支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度糸田町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度糸田町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成27年度糸田町上水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町国民健康保険事業勘定特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町学校給食センター事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町立緑ヶ丘病院事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成28年度糸田町上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
指定管理者の指定について(糸田町社会福祉センター)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
指定管理者の指定について(糸田町文化会館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
指定管理者の指定について(糸田町コミュニティステーション)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町固定資産評価員の選任について(河端高博)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
田川郡東部環境衛生施設組合への加入について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
2件の懲罰動議については、それぞれの特別委員会における慎重審議の結果、両委員会ともに戒告の懲罰を科すことに決定し、本会議において採決することになりました。	可決	○	○	○	×	○	○	○	除斥	○	○	○	—
村上秀二議員に対し戒告の懲罰を科すこと	可決	×	○	○	×	○	○	○	除斥	○	○	○	—
谷口輝昭議員に対し戒告の懲罰を科すこと	可決	×	○	○	×	○	○	○	除斥	○	○	○	—
糸田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 (月の途中で議員を退職した場合、議員報酬を日割り計算とするもの。)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町議会委員会条例の一部を改正する条例 (課の変更に伴い、議会内委員会の所管課を変更し、委員会名称を変更するもの。)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
糸田町選挙管理委員及び補充員の選挙 委員4名(阿南芳秋、荒牧孝春、田中正勝、末吉豊)と補充員4名(篠原裕之、楠木元、御手洗辰雄、久留米諭久恵)を、指名推選すること。	8名当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
田川郡東部環境衛生施設組合議会議員の選出 今回、加入議案が可決されたことを受け、糸田町議会議員より4名(井手元正人・村上秀二・中原詔蔵・城島信幸)を選出すること。	4名選出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ 議長に採決権はないため「—」としています。可否同数の場合のみ裁決権を行使します。



武道館の入口内に大きなポスター「柔道は人間教育」の文字に柔道の神髄を感じて館内へ。
すでに、少年少女が一心不乱で稽古中。
倉石剛(41歳) コーチの一声でさっと横並びに13名が一直線、そして一礼。
4月からかわる新代表の山口英樹(39歳)さんにインタビュー。
平成2年5月創立の「糸田町スポーツ少年団柔道部」は、それより以前からクラブで活動していたとの事。
現在部員は少年少女で18名(小学11名、中学7名)。稽古日は、週3回(月・水・金、午後6時30分から午後8時)で精進している。

ここでの熱心なチームの稽古の結果、中学校、高校の柔道部に進み、全国大会に多数出場していると代表は強調された。
少年と少女が、柔道着のお互いの襟をつかみ、内掛け、外掛け等堂々の技の鍛錬に思わず感動！
柔道も礼に始まって礼で終わる。
仲間同士の礼節と友愛を学び、心・技・体を研ぐ「人間の教育」だ。
これからも「春夏秋冬」怪我なしで頑張るいとだっ子の熱闘に、町民も元気をもらい、応援!!



議会を傍聴に来ませんか

- 議会の定例会は(年4回)3・6・9・12月に開催されます。
- 本会議は、住所と氏名を記入だけで傍聴できます。
- 委員会は、委員長許可により傍聴できます。
- 次回第2回は、6月上旬に開催予定です
(詳細につきましては、決定次第、防災行政無線等でお知らせします。)

「議会だより」アンケート募集中!

皆様の声をお聞かせください。

設置場所

- ・糸田町役場1階 住民課前
- ・糸田町役場3階 議場傍聴席入口
- ・糸田町社会福祉センター 入口正面



編集後記

昨年、町村議会広報コンクールに応募した結果が届いた。残念ながら、入賞には至らなかった。

国立国語研究所専門職員の審査委員からは、「編集後記の句読法に、編集の目が必要だろう。短文においても蔑ろにできない読点がある。その存在意義がわかれば、読点に迷うことはないはず」と手厳しい講評。

句読法を、スマホで調べると「文中の語を区切ることで、文章の意味を明確にする」とあった。

この編集後記の文章をつくる時、迷いだらけの中で文章をつくっていたので、審査委員からしっかり見抜かれてしまった。「とほほ……」。

グラフィックデザイナーの審査委員からは「各紙面は情報の要点を絞り込み、住民に情報が伝わる編集。表組を用いて情報を上手に整理し、訴求された紙面。各紙面で用語の説明があり、配置された写真・イラスト等は、住民の情報理解に寄与する表現となっている」とうれしい講評もあった。また、議会広報サポーターの審査委員からは「議事公開度を高めたい」との指摘があった。

コンクールに参加して、改めて議会だよりを客観的に考察することができた。委員一同更なる研鑽で住民目線の編集に取り組んでいきたい。



議会広報常任委員会・一

委員長 小嶋 康子
副委員長 松瀬 征行
委員 竹田 照美
委員 松岡 久
委員 中原 詔蔵
委員 井手元正人

発行責任者・

議長 井手元正人

問い合わせ・

〒822-1392
糸田町 1975 番地 1
糸田町議会事務局
電話 26-4353